

こども若者県政モニター
令和8年度 第1回アンケート結果



岐阜県秘書広報課広聴広報係



令和8年度 こども若者県政モニター 第1回アンケート調査結果

<調査実施の概要>

1. アンケート期間
- 令和8年6月10日(水曜日)から6月28日(日曜日)まで
2. モニター数
- 607人
3. 有効回答者数・回答率
- 回答者数:447名 回答率:73.6%

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

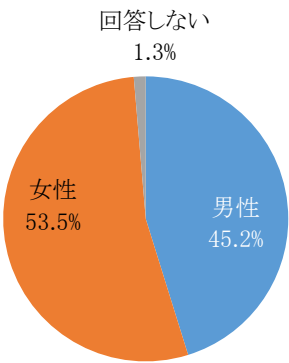
また、複数回答可の場合、特記のある場合を除き、「回答総数」ではなく「回答者数」を基に算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

「有効回答」とは、全ての回答の中から、モニターでない方の回答と、同じ方からの複数回目の回答を除いたものです。調査結果は全て「有効回答」を基に作成しています。

4. 回答者属性

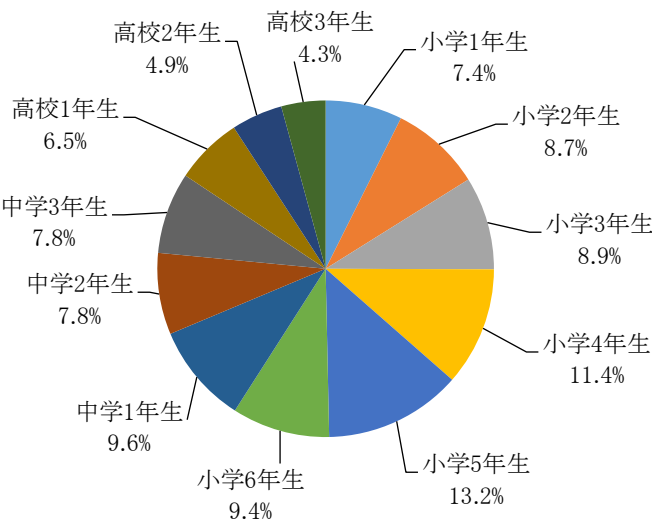
(1)性別

	人数	割合
男性	202	45.2%
女性	239	53.5%
回答しない	6	1.3%
計	447	100.0%



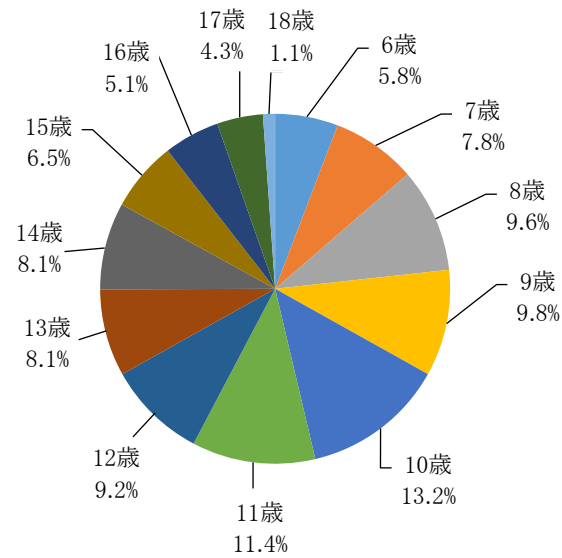
(2)学年別

	人数	割合
小学1年生	33	7.4%
小学2年生	39	8.7%
小学3年生	40	8.9%
小学4年生	51	11.4%
小学5年生	59	13.2%
小学6年生	42	9.4%
中学1年生	43	9.6%
中学2年生	35	7.8%
中学3年生	35	7.8%
高校1年生	29	6.5%
高校2年生	22	4.9%
高校3年生	19	4.3%
計	447	100.0%



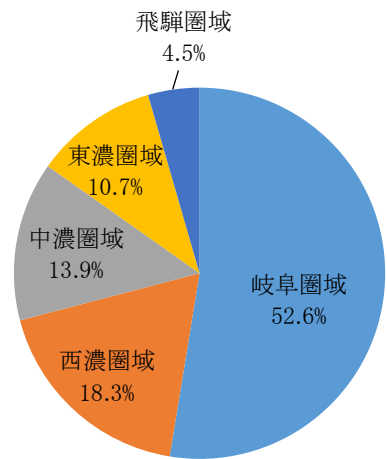
(3)年齢別

	人数	割合
6歳	26	5.8%
7歳	35	7.8%
8歳	43	9.6%
9歳	44	9.8%
10歳	59	13.2%
11歳	51	11.4%
12歳	41	9.2%
13歳	36	8.1%
14歳	36	8.1%
15歳	29	6.5%
16歳	23	5.1%
17歳	19	4.3%
18歳	5	1.1%
計	447	100.0%



(3)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	235	52.6%
西濃圏域	82	18.3%
中濃圏域	62	13.9%
東濃圏域	48	10.7%
飛騨圏域	20	4.5%
計	447	100.0%



岐阜県の未来に関するアンケート

総合政策課

1. アンケート調査の目的

「新たな総合戦略(仮称)」の策定に向け、こども・若者の県政に対する意見や将来への考えを把握し、施策検討の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 岐阜県について、将来期待することやどんな県になったら良いかを教えてください。

(主な意見)

【小学生】

- ・交通事故がなくて、病気もなくて、みんなが元気に暮らせるまち。
- ・災害が起きた時でも、全員が安心して避難活動などができるようなまち。
- ・みんなが優しくなれるまち。いろいろな所で助け合えるまち。
- ・お店がたくさん増えて、人がたくさん来るようになるまち。
- ・美味しいご飯がたくさんあって、観光地が大人から子どもまで楽しめるまち。
- ・勉強が楽しめるまち。いろいろなことにチャレンジできるまち。
- ・移動がしやすいまち。夢を応援してくれるまち。
- ・病院、科学館、図書館、消防署、警察署などの公共施設があり、お年寄りも子どもも楽しく安全に過ごせるまち。

【中学生・高校生】

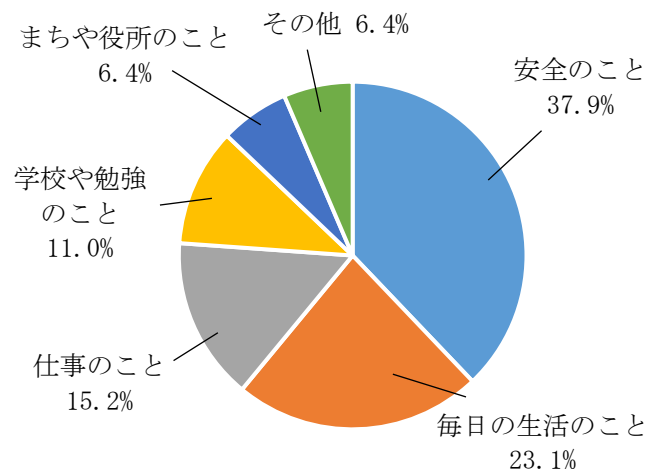
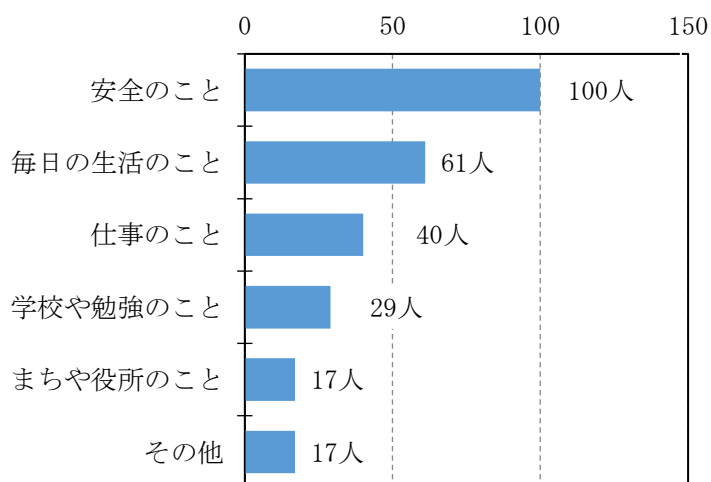
- ・子育て支援や保育園の整備を充実させて、岐阜県で子どもを産んで育てたいと思える環境をつくれるとよい。
- ・子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる岐阜県になってほしい。また、進学や就職をしても岐阜県に住み続けたい、戻ってきたいと思える魅力ある県になってほしい。
- ・地域と学校がつながりを持ち、学生が地元について考える機会を増やすことで、地域交流が増え、明るい県になると思う。
- ・災害に強い町になってほしい。避難場所がもう少し多いとよいと思う。
- ・飛行場ができれば都内からも人が来て、岐阜がもっと盛んになると思う。花火大会や夏祭り、鶺鴒など、岐阜の川のきれいさを生かした行事をもっと企画してほしい。
- ・岐阜県には誇るべき豊かな自然や歴史、文化があるので、それらを生かして観光や地域産業がさらに発展してほしい。
- ・家から学校が遠いので通学バスがほしい。通学路の日陰を増やしたり、道路の水たまりをなくしたりしてほしい。
- ・豊かな自然が守られつつ、公共交通機関が発達していて生活しやすい県になってほしい。

問2 【小学生】

みなさんが大人になったとき、「ちょっと心配だな」と思うことはなんですか。

回答者： 264 人

	回答数	割合
安全のこと (大きな地震が起きる、道路や水道が古くなる、新しい病気が広がるなど)	100	37.9%
毎日の生活のこと (赤ちゃんを産んだり子どもを育てたりすることが大変になる、お年よりや体の不自由な人、外国の人が暮らしにくくなる、消防団など地域を守る人が少なくなるなど)	61	23.1%
仕事のこと (お店や会社、畑などで働く人が足りなくなる、パソコンやAIが使えないと仕事が遅れてしまうなど)	40	15.2%
学校や勉強のこと (子どもが少なくなって学校がなくなる、先生が足りずやりたい勉強ができなくなるなど)	29	11.0%
まちや役所のこと (役所で働く人が少なくてごみを集めてもらえなくなる、図書館や公園などは使う人が少なくなると続けていくことができなくなるなど)	17	6.4%
その他	17	6.4%
計	264	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・川が汚くなって、きれいな水にすむ生き物がいなくなってしまう
- ・大人になった頃にはもっと暑くなるのではないか
- ・生活がしていけるか心配

～結果の概要～

小学生が、大人になったとき「ちょっと心配だな」と思うことは、「安全のこと」が37.9%で最も多く、次いで「毎日の生活のこと」(23.1%)、「仕事のこと」(15.2%)の順となっている。

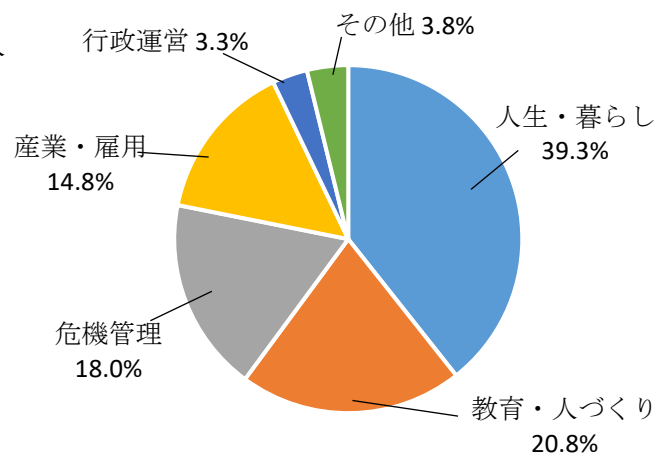
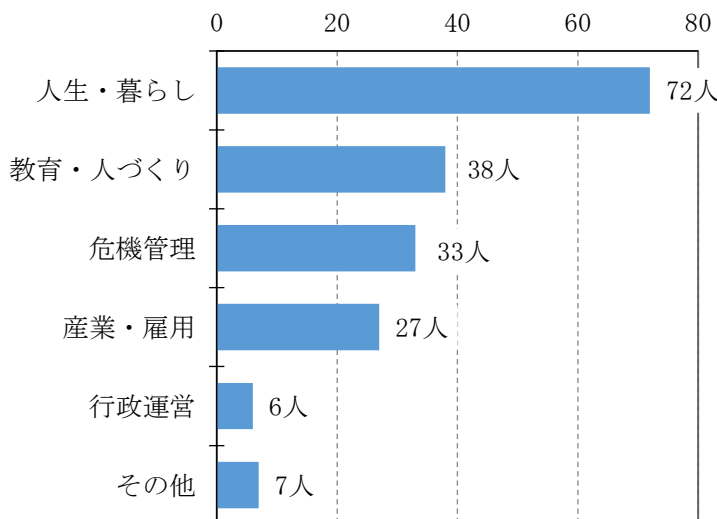
また、「学校や勉強のこと」は11.0%、「まちや役所のこと」は6.4%となっている。

問2 【中学生・高校生】

これから10年先までを考えたとき、岐阜県で一番課題になることは何だと思いますか。

回答者： 183 人

	回答数	割合
人生・暮らし (女性の妊娠・出産・子育てしやすい環境、高齢者・障がい者・外国人等の働きやすい環境、地域を支える担い手不足など)	72	39.3%
教育・人づくり (児童生徒数の減少、学びなおしの環境、多様化する教育ニーズなど)	38	20.8%
危機管理 (南海トラフ地震への備え、社会インフラの老朽化、新たな感染症に対する備えなど)	33	18.0%
産業・雇用 (中小企業・小規模事業者(特に建設業・農林業・介護分野)における担い手不足、AIを含むデジタル化の遅れ、生産性・競争力低下など)	27	14.8%
行政運営 (行政職員・専門人材(技術職等)の不足、公共施設の再編・複合化の必要性など)	6	3.3%
その他	7	3.8%
計	183	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・中山間部の消滅可能性自治体の増加による経済・観光業の衰退
- ・過疎化、岐阜県より他県の方が魅力的だと考える若者が多い
- ・ごみの分別において認識がない人が多い

～結果の概要～

中学生・高校生が、これから10年先までを考えたときに、岐阜県で一番課題になると考えていることは、「人生・暮らし」が39.3%で最も多く、次いで「教育・人づくり」(20.8%)、「危機管理」(18.0%)の順となっている。

また、「産業・雇用」は14.8%であり、「行政運営」は3.3%、「その他」は3.8%となっている。

問3 問2でえらんだ「課題」について、どうしてそのように考えるのか具体的に教えてください。

(主な意見)

【小学生】

- ・寝ている時に地震や火事が起きたら、逃げ遅れて命がなくなってしまうかもしれないから心配。
- ・地震で建物が崩れてくると怖い。道路が狭くて怖い。新しい病気が流行ると怖い。
- ・安全に暮らせる街でないと、仕事も生活も勉強もできないと思うから。
- ・大きな地震で、電気や水がしばらく使えなくなるのが心配。
- ・守ってくれる人が減ると、悪いことが増えるかもしれないから心配。
- ・少子高齢化で人数が減っていったら、野菜を作る人や物を売る人が減って、生活がしにくくなると思ったから。
- ・農業が衰退していき、食料自給率が下がったり、地域の特産物がなくならないか心配。
- ・学校がなくなると、友達と遊べなくなったり、勉強ができなくなったりするのが悲しい。

【中学生・高校生】

- ・少子化が進む理由として、子どもを育てる費用がかかったり、出産によって仕事に支障が出たりすることがあると思う。
- ・外国人の子がいても言葉の壁があり、授業内容をどこまで理解しているか分からない。外国人も自分たちも安心して過ごせる学校や社会になるとよい。
- ・自分が卒業した学校の児童生徒数が減っており、学校が統合されると、学べることや活動の機会が減るのではないかと思う。
- ・学校での部活動の機会が減り、地域移行も中途半端で、学校の仲間と好きなスポーツを続けるのが難しいから。
- ・最近、大きな地震が続いているので対策は大切だと思う。備えも準備不足な感じがするし、避難訓練も実際に起こったと思って対応した方がよい。
- ・ライフライン、特に上下水道の老朽化問題を最近ニュースでよく見るため、社会インフラが整備されている方が、より安心して暮らせると思う。
- ・岐阜県にどのような企業や仕事があり、どのような人が働いているのかを知る機会が少ないため、将来岐阜県で働くか考えにくい。
- ・将来は行政が提供するサービスが幅広くなり、課題を解決するにも専門知識を持った職員と人数が必要になると思う。

問4 問2や問3で選んだことについて、解決するために具体的に何をやる必要があると思うのか教えてください。

(主な意見)

【小学生】

- ・近くに防災グッズを置くとよくなる。
- ・防災リュックの配布、避難所の充実、学校での防災学習、会社やお店と地域での防災訓練など、防災関連の政策を充実させる。
- ・みんなで助け合う。
- ・女性が子どもを産みやすいように支援する活動をしたらいいと思う。
- ・自分でも畑を始める。
- ・AIやロボットで代替できる仕事は自動化し、人にしかできない仕事に人材を集中させる。
- ・先生の職業に就く人を県が呼びかけて募集し、先生の人数を増やす。
- ・ごみ拾いなどのボランティアをする。

【中学生・高校生】

- ・保育士さんが働きたくなるような保育園をつくる。子育てが終わった人が保育士の資格を取りやすい制度や、企業内託児所への補助も必要。
- ・若い世代が岐阜県で学び、働き、暮らしたいと思える環境づくりが必要。地元企業や地域の魅力を知る機会を増やすことが大切。
- ・児童生徒数が減少する中でも、一人ひとりが十分な教育を受けられる環境を整備することが重要。
- ・岐阜県の魅力を伝えて、県外から引っ越してくる人を増やし、岐阜県の良さを広めながら児童を増やす方法がよい。
- ・大きな地震があっても病院や役所がいつも通り仕事ができるように、病院や役所などは免震構造にしておくとうい。
- ・社会ライフラインの整備・更新を進める。防犯の面でも街灯を増やし、自然環境を守る取り組みやSDGsの取り組みも進める必要がある。
- ・県内企業の見学会や職場体験、企業で働く人の講話を増やしてほしい。中学生のうちから地元企業の魅力を知ること、将来岐阜県で働くことを考えやすくなる。
- ・学生に地方自治体の職員に興味を持ってもらう必要がある。公務員の仕事の内容ややりがいを伝える活動をするとうい。

デジタル化・DXに関するアンケート

デジタル戦略推進課

1. アンケート調査の目的

「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の見直しに活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 【小学生】

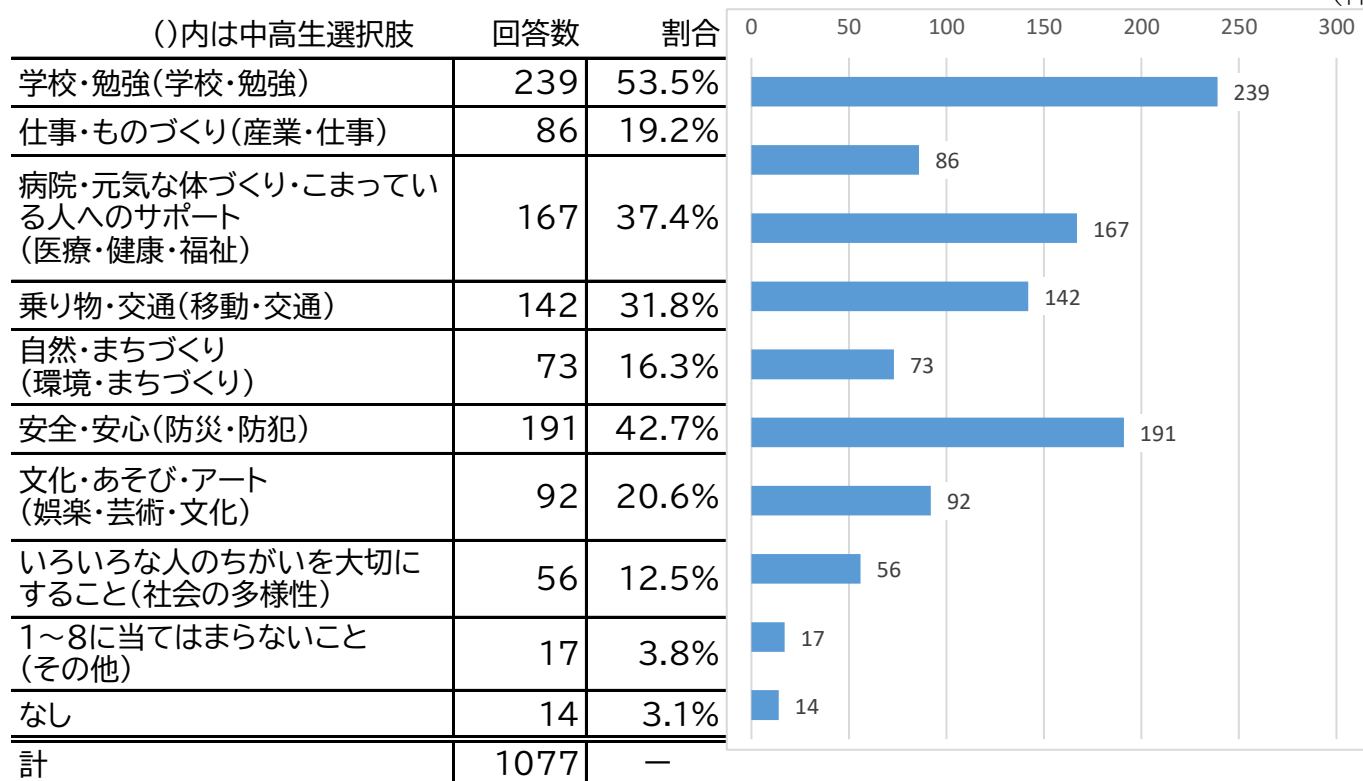
あなたは、今、スマートフォンやコンピュータ、インターネットなどを使って、「もっとこうなると嬉しい」と思っていることはありますか。それはどんなことにつながりがありますか。あてはまるものを3つまでえらんでください。

【中高生】

現在、デジタル技術を活用して、「もっとこうなればいいのに」「もっとこうなればうれしいな」と思っていることはありますか。それはどんな場面か、あてはまるものを3つまで選んでください。

回答者： 447 人

(件)



～結果の概要～

子どもたちのデジタル活用への期待は、「学校・勉強」「防災・防犯」「医療・健康・福祉」といった日常生活や日常を支える分野に向けられている。これらの分野でのデジタル推進が、子どもたちの期待に応える上で優先課題と考えられる。

問2【小学生】

問1でえらんだものの中から、どんなことで「もっとこうなればうれしい」
と思っているかを教えてください。（自由記載）

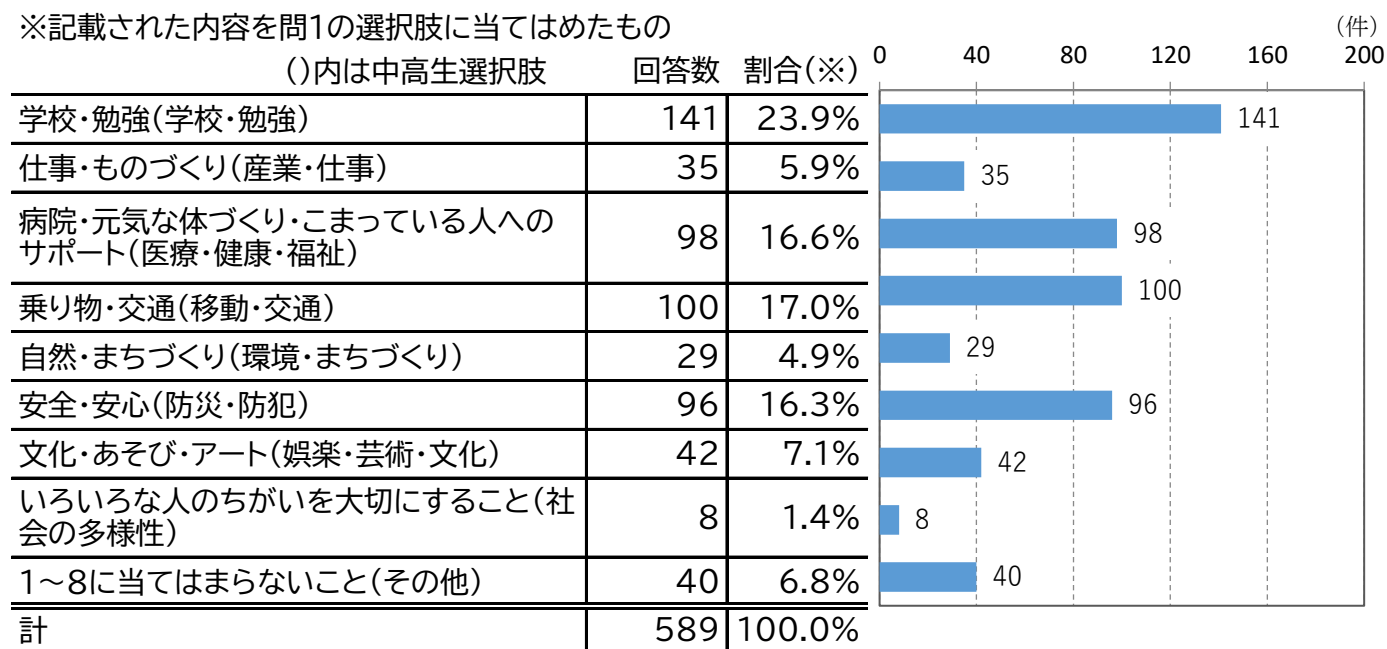
【中高生】

問1で選んだことの具体的な内容を教えてください。（自由記載） 回答者： 422 人

主な自由記載回答

- ・ 軽いタブレットがほしい
- ・ 学校をお休みしても授業が見れるようになってほしい
- ・ 完全自動で安全運転の車がほしい
- ・ オンラインでの病院受診をやすくしてほしい
- ・ インターネットを使って、トラブルなど起きないようにして、安全な社会になってほしい

※記載された内容を問1の選択肢に当てはめたもの



「その他」のうち主なもの

- ・ AIに頼らず自分で考えて行動する
- ・ 落としても壊れないタブレットがほしい

～結果の概要～

主に「学校・勉強」「移動・交通」「医療・健康・福祉」「防災・防犯」といった分野で具体的なビジョンを持っていることがわかった。いずれも子どもたちの生活に密着した分野であり、子どもたちの身近にも、課題・改善できることがたくさんあることがわかった。

問3 【小学生】

あなたが大人になるころは、スマートフォンやコンピュータ、インターネットを使って、もっといろいろなことができるようになっていっていると思います。

あなたは、30年後に、どんな社会(しゃかい)になっていてほしいですか。
「こんなことができたらうれしい」というゆめなど、どんなことでもいいので教えてください。
(自由記載)

【中高生】

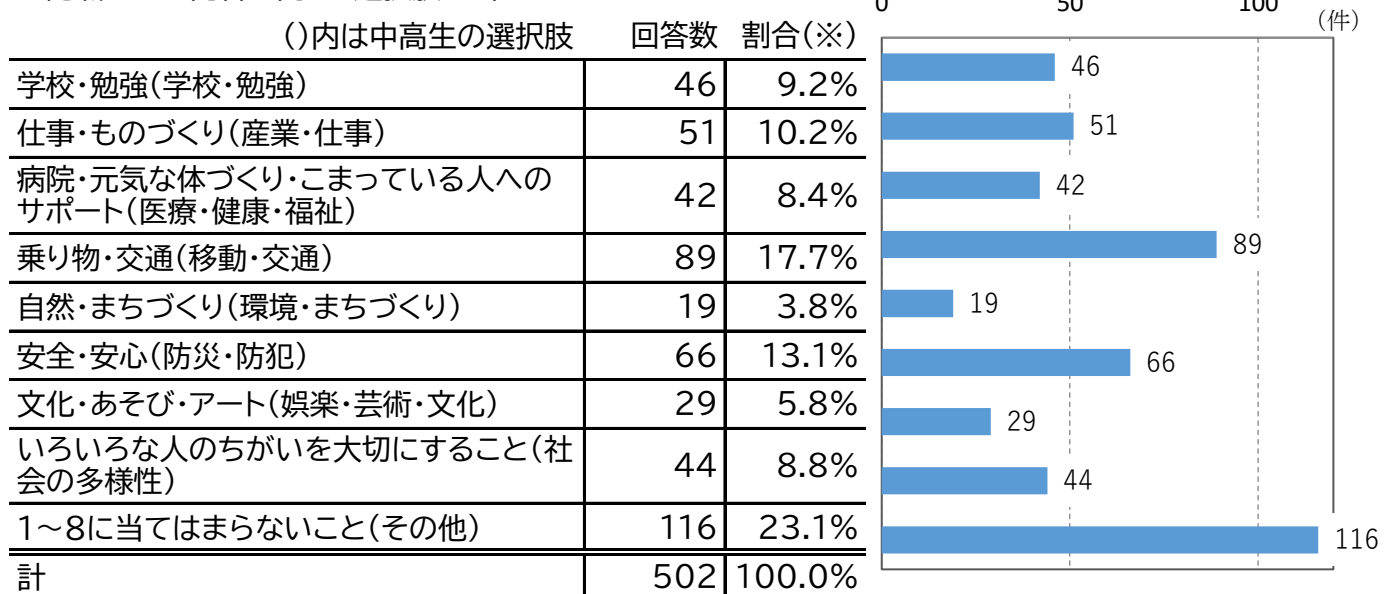
今度は、およそ30年後、デジタル技術が今より進歩した世界を想像してください。
その時に、どんな社会になっていてほしいですか。
「こんなことができるようになっていたらいい」という夢や、
「こんなことはやらなくてよくなってほしい」というアイデア、
「皆さんが思う理想の社会の姿」などを教えてください。どんな小さなことでも構いません。
(自由記載)

主な自由記載回答

回答者：429 人

- ・ 絶対に事故をしない自動運転の車ができてほしい
- ・ 空飛ぶ車が当たり前になってほしい
- ・ 犯罪が起きる前に防げるような社会になってほしい
- ・ 秒数までいつ災害が起きるか完全にわかる社会になってほしい

※記載された内容を問1の選択肢に当てはめたもの



※この割合は「回答総数」を基に算出しています。

「その他」のうち主なもの

- ・ 全部がデジタルになるのではなく、程よくデジタルを活用してほしい
- ・ 雑務をやらなくてもよくなってほしい
- ・ 外国の人と英語が分からなくても友達になれたらうれしい

～結果の概要～

「移動・交通」「防災・防犯」「産業・仕事」などの分野において、デジタル技術が進歩した30年後の理想像が多く寄せられた。また、「その他」が突出して多く、子どもたちならではの自由でのびのびとした未来への夢についての回答が多かった。

読書についてのアンケート

文化伝承課

1. アンケート調査の目的

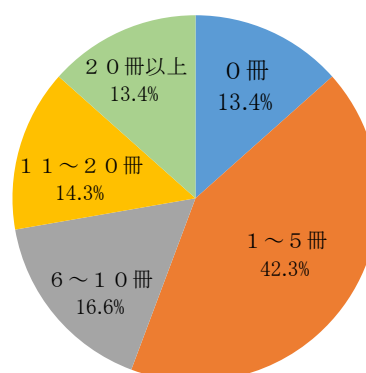
岐阜県の子どもたちの読書活動状況を把握し、「岐阜県子ども読書活動推進計画(第五次)」の進行管理に役立てるため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

- 問1 あなたは5月の1か月間に本を何冊ぐらい読みましたか？借りて読んだ本も入れてください。
(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌やふろくを除く)
※1冊も読んでない人は0と書いてください。

回答者:447人

	人数	割合
0冊	60	13.4%
1～5冊	189	42.3%
6～10冊	74	16.6%
11～20冊	64	14.3%
20冊以上	60	13.4%
計	447	100.0%



[校種別]	平均冊数	不読率
小学生	15.7	6.5%
1～3年生	15.0	5.4%
4～6年生	16.2	7.3%
中学生	6.1	14.2%
高校生	2.6	38.6%

～結果の概要～

児童生徒が1か月に読む本の冊数は、「1～5冊」が最も多く、4割を超えた。

また、2025年度学校読書調査と比較すると、平均読書冊数は全ての校種で全国平均を上回り、不読率は全ての校種で全国平均を下回った。

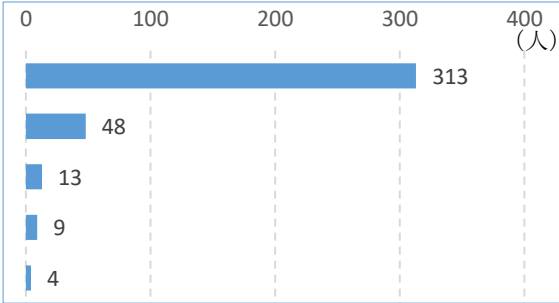
【参考(2025年度学校読書調査)】

平均読書冊数:小学生[4～6年生]12.1冊、中学生3.9冊、高校生1.4冊

不読率:小学生[4～6年生]9.6%、中学生24.2%、高校生55.7%

問2 上の質問で答えた冊数のうち、電子書籍で読んだのは何冊ですか？ 回答者:387人

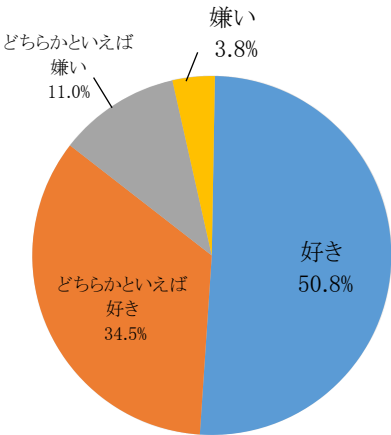
	回答数	割合
0冊	313	80.9%
1～5冊	48	12.4%
6～10冊	13	3.4%
11～20冊	9	2.3%
20冊以上	4	1.0%
計	387	100.0%



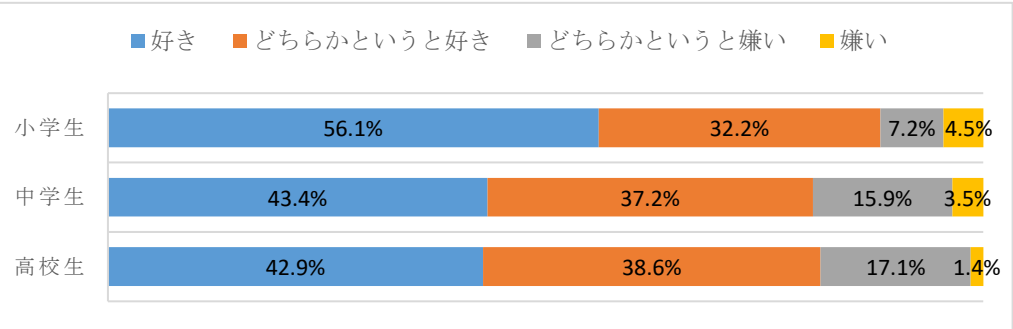
～結果の概要～
電子書籍による読書はまだ広く普及しているとはいえないが、電子書籍を利用して読書を行う児童生徒も一定数見られた。

問3 読書は好きですか？あてはまるものをひとつ選んでください。 回答者:447人

	回答数	割合
好き	227	50.8%
どちらかといえば好き	154	34.5%
どちらかといえば嫌い	49	11.0%
嫌い	17	3.8%
計	447	100.0%



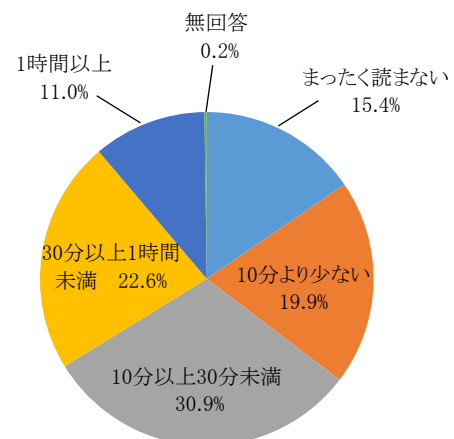
	小学生	中学生	高校生
好き	56.1%	43.4%	42.9%
どちらかといえば好き	32.2%	37.2%	38.6%
どちらかといえば嫌い	7.2%	15.9%	17.1%
嫌い	4.5%	3.5%	1.4%
計	100%	100%	100.0%



～結果の概要～
読書が「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合は、小学生では9割近くに達し、中学生・高校生ではともに約8割となった。

問4 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜)、1日当たりどれくらいの時間、読書
 しますか？あてはまるものをひとつ選んでください。
 (電子書籍も含む。教科書・学習参考書・マンガ・雑誌やふろくを除く) 回答者:447人

	人数	割合
まったく読まない	69	15.4%
10分より少ない	89	19.9%
10分以上30分未満	138	30.9%
30分以上1時間未満	101	22.6%
1時間以上	49	11.0%
無回答	1	0.2%
計	447	100.0%



～結果の概要～

学校の授業時間以外の平日(月曜日から金曜日)に読書時間を確保している児童生徒は8割を超えた。読書時間では、「10分以上30分未満」が約3割と最も多かった。

一方で、全く読書をしない児童生徒も約15%見られた。

問5 みんなが本をもっと読みたくなるためには、どんなことがあったらいいと思いますか。
(一部抜粋)

[小学生]

- ・学校でみんなと一緒に本を読む時間を作る
- ・面白い本を皆で紹介し合う。図書館にたくさんの種類の本を入れる。
- ・図書館の本に電子書籍が増えて、図書館に行かなくても簡単に本が借りられる。
- ・お父さんやお母さんたちと、図書館へ行く時間がたくさん取れるとよい。
- ・図書館祭りのような本に親しむことのできるイベントを行ったり、学校の図書館で最近のおもしろい本ランキングとかを作って紹介したらいいと思います。

[中学生]

- ・みんなが「この本借りてみたい！」と思えるように魅力的な本紹介をするイベントがあるといいと思います。
- ・ジャンルを問わず色々な本を図書館に置いて欲しい。
- ・学校の読書の時間をもっと増やす。
- ・オーディブルのように耳から聞くというのも本に興味を持つきっかけになるのかもしれない。

[高校生]

- ・一人ひとりの興味に合った本をAIがおすすめしてくれる仕組みや、電子書籍・オーディオブックを気軽に利用できる環境があると、本を読む人が増えると思います。また、読書の感想を気軽に共有できる機会が増えると、本を読む楽しさが広がると思います。
- ・学校の授業などで、国語の授業とは別に読書をする時間を設けることで本の面白さに気付くことができ、本が読みたくなると思います。
- ・学校や市などの図書館で様々な分野の本を取り揃える。
- ・本を読むことを無理に勧めるのではなく、一人ひとりの興味に合った本と出会える機会を増やすことが大切だと思います。面白い本に出会えば、自然と本を読みたくなる人が増えると思います。

問6 学校の図書館や地域の図書館をもっと利用したくなるためには、どうするといいと思いますか。(一部抜粋)

[小学生]

- ・読みたい本がすぐ見つからないから、いろんな種類の本があるといい
- ・もっと新しい本を沢山入れて読み聞かせ会などをしてほしい
- ・おすすめの本をお兄さんお姉さんに教えてもらいたい
- ・親に連れて行ってもらうなくても自分で気軽に図書館に行けるといいと思いました。
- ・本を借りに行くだけでなく、先生や館長さんなどとお話できるようになると、先生、館長さんとお話したいから図書館に行こう、本を借りに行こうとなると思います。

[中学生]

- ・おすすめ本の紹介をする。ネットやテレビなど話題になっている物から話題を広げていく。
- ・面白い本がいっぱいあったりして色々な年齢の人が楽しめる図書館だと利用したくなると思う。
- ・〇冊以上借りたら景品がもらえる、などのキャンペーン
- ・行きやすさだと思います。家から10分程度の時間(車も可)で図書館に行けて、[今時間あるから、行こ。]と思えると思うから。学校だと、自分の休み時間を使っていこうという人は、少ないと思うので、授業で図書館に行く時間をつくったり、何冊読んだら、ご褒美というのを生徒中心でやっていく。
- ・本を借りる以外にも、図書館に行きやすくなるようなイベントや、コーナーがあるとよい。

〔高校生〕

- ・ 明るい図書館。学習室が充実している図書館
- ・ 豊富な蔵書にする、漫画、雑誌もジャンルを問わず幅広く揃える。
- ・ 近くにあることや、自分の興味のあるほんがある。また、返すのが面倒だから返し易い方法があるといい。
- ・ 図書館を利用するという点なら、カフェなど飲食ができて人と談笑できる施設も増設すれば若者の利用客は増える可能性があると思います。静かに本を読む施設というイメージを、本を静かに楽しむけど友達と本に触れながらゆるく落ち合える場所というイメージに変えたりするといいと思います。ただ、本を読んで欲しいという目的ならばまた変わってくると思います。

住まいに関するアンケート

住宅課

1. アンケート調査の目的

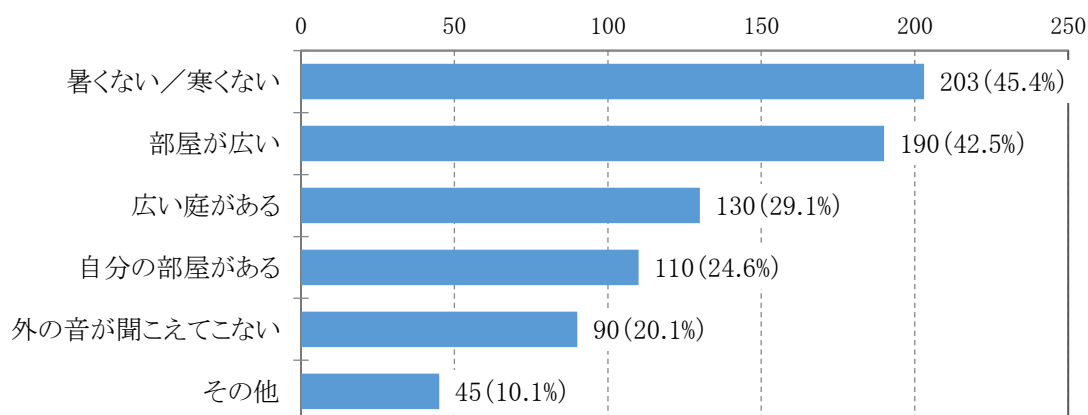
住まいに対する県民の皆さんの意識や現状を把握し、岐阜県住生活基本計画の見直しに係る住宅施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 今住んでいる家の中で、もっとこうなったらいいと思うところはなんですか？
2つまで選んでください。 回答者： 447 人

	回答数	割合
暑くない／寒くない	203	45.4%
部屋が広い	190	42.5%
広い庭がある	130	29.1%
自分の部屋がある	110	24.6%
外の音が聞こえてこない	90	20.1%
その他	45	10.1%
計	768	—

(人)



「その他」のうち主なもの

- ・ 害虫、害獣が入ってこない
- ・ 地震に強い家
- ・ 収納が足りない

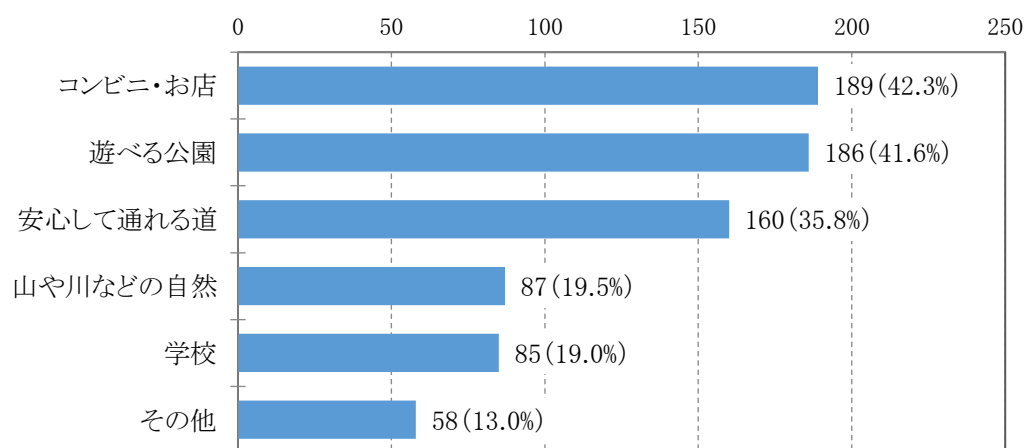
～結果の概要～

今住んでいる家の中で、もっとこうなったらいいと思うところについて、「暑くない／寒くない」が45.4%で最も多く、次いで「部屋が広い」(42.5%)、「広い庭がある」(29.1%)の順となっている。

問2 今住んでいる家の近くにあったらいいと思うものはなんですか？2つまで選んでください。

回答者： 447 人

	回答数	割合
コンビニ・お店	189	42.3%
遊べる公園	186	41.6%
安心して通れる道	160	35.8%
山や川などの自然	87	19.5%
学校	85	19.0%
その他	58	13.0%
計	765	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 友達と集まれる場所
- ・ テーマパーク
- ・ 駅
- ・ 図書館

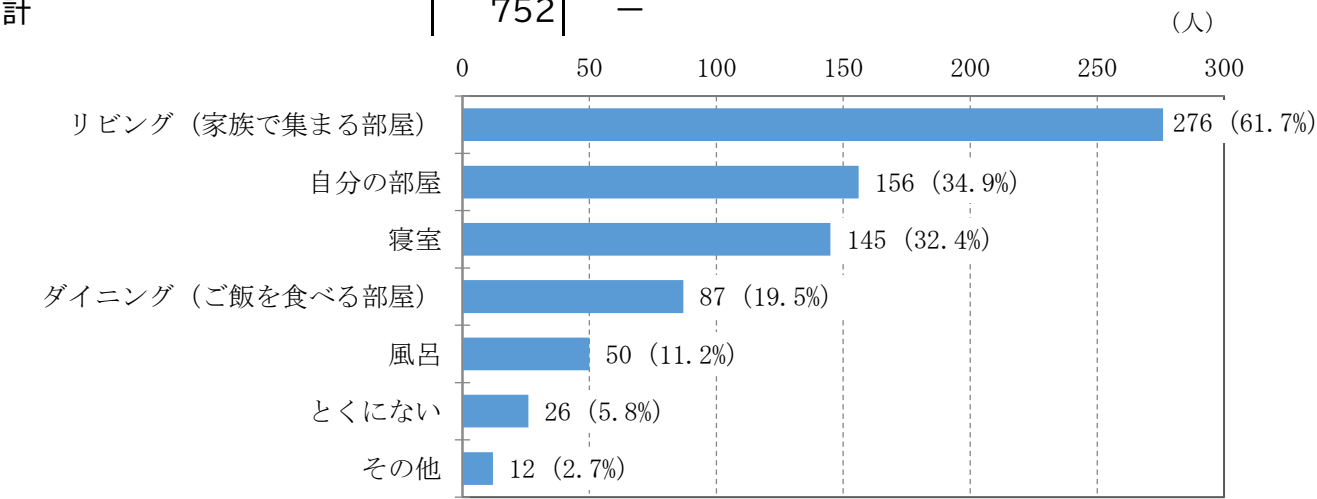
～結果の概要～

今住んでいる家の近くにあったらいいと思うものについて、「コンビニ・お店」が42.3%で最も多く、次いで「遊べる公園」(41.6%)、「安心して通れる道」(35.8%)の順となっている。

問3 今住んでいる家の中で好きな場所はどこですか？2つまで選んでください。

回答者： 447 人

	回答数	割合
リビング(家族で集まる部屋)	276	61.7%
自分の部屋	156	34.9%
寝室	145	32.4%
ダイニング(ご飯を食べる部屋)	87	19.5%
風呂	50	11.2%
とくにない	26	5.8%
その他	12	2.7%
計	752	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 和室
- ・ キッチン
- ・ トイレ

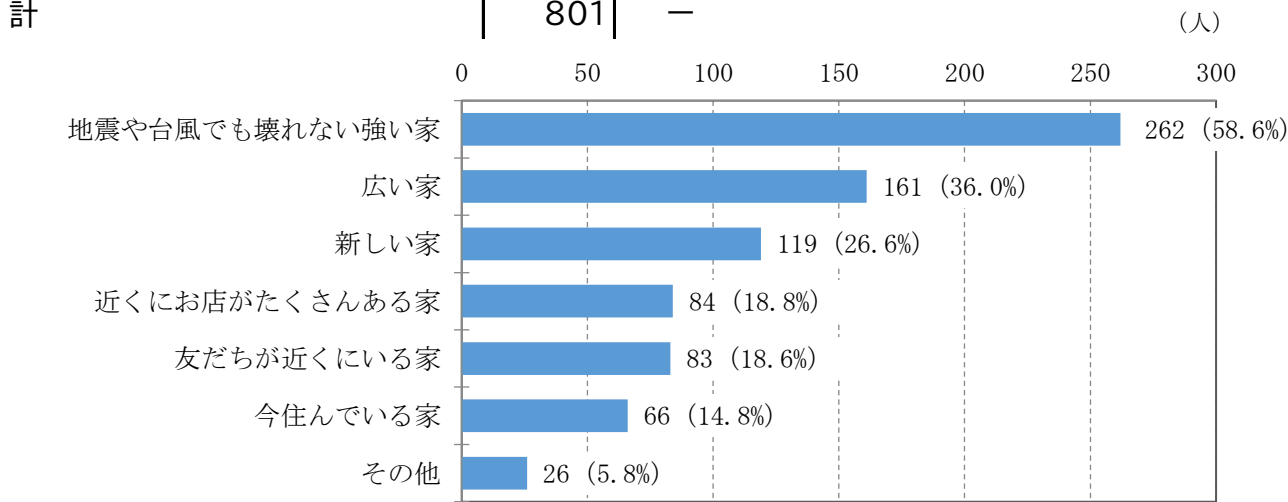
～結果の概要～

今住んでいる家の中で好きな場所について、「リビング(家族で集まる部屋)」が61.7%で最も多く、次いで「自分の部屋」(34.9%)、「寝室」(32.4%)の順となっている。

問4 大人になったらどんな家に住みたいですか？2つまで選んでください。

回答者： 447 人

	回答数	割合
地震や台風でも壊れない強い家	262	58.6%
広い家	161	36.0%
新しい家	119	26.6%
近くにお店がたくさんある家	84	18.8%
友だちが近くにいる家	83	18.6%
今住んでいる家	66	14.8%
その他	26	5.8%
計	801	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 庭が広い家
- ・ 日本の伝統的な要素が入っている家
- ・ 防犯機能がいっぱいある家

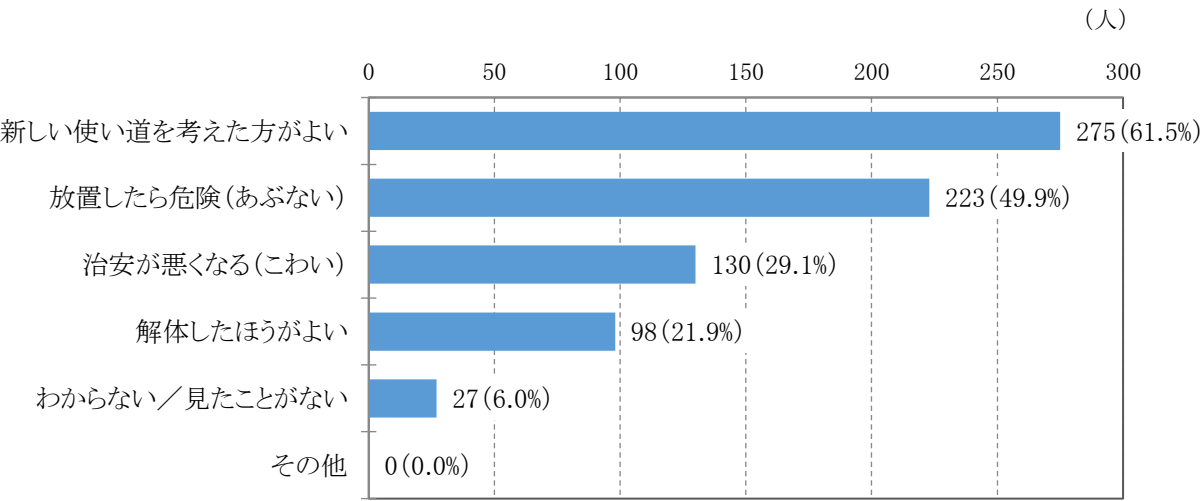
～結果の概要～

大人になったら住みたい家について、「地震や台風でも壊れない強い家」が58.6%で最も多く、次いで「広い家」(36.0%)、「新しい家」(26.6%)の順となっている。

問5 誰も住んでいない古い家(空き家)についてどう思いますか？2つまで選んでください。

回答者： 447 人

	回答数	割合
新しい使い道を考えた方がよい（もったいない、直して使えばいい）	275	61.5%
放置したら危険(あぶない)	223	49.9%
治安が悪くなる(こわい)	130	29.1%
解体したほうがよい	98	21.9%
わからない／見たことがない	27	6.0%
その他	0	0.0%
計	753	－



～結果の概要～

空き家のことをどう思っているかについて、「新しい使い道を考えた方がよい」が61.5%で最も多く、次いで「放置したら危険」(49.9%)、「治安が悪くなる」(29.1%)の順となっている。

問5 その他、住まいについてご意見があればご記入ください。 回答者: 321 人

<空き家等に対する意見>

- ・古くなくてもみんながそのまま大事に住めるようにサポートがあるといいなと思います。そうすれば新しい家が増えてばかりで空き家が増えるようなことが減る気がします。
- ・私の住んでる隣の家が空き家になっているのでキツネが住み着いています。お父さんが私たちに何か、されたら怖い。と言っているので空き家を調べて貸し出ししたりできるといいと思います
- ・空き家は壊すか、安全だったら直して、小さな習い事の施設にすると良いと思う。
- ・空き家がこれ以上増えないように空き家のリノベーションやリフォーム代を国や県に負担して欲しいです。そうになったら、今の家は古いですが場所は気に入っているので、リノベーションして住みます。
- ・市街地などでの空き家の増加を懸念している。利活用できる例はあまり多くないと思うので、処分をスムーズにできる制度を整えてほしい。

<安全・安心な住まいと地域に関する意見>

- ・家をリフォームしましたが、耐震もしました。耐震は築年数関係なく、補助金が欲しいとママが言っていた。
- ・全ての家が地震などの災害にたえられるようにすれば被害を減らせると思います。
- ・何が起きても電気が消えないような家がいい
- ・ママが子供の頃はちょっとのお出かけなら鍵をかけなくても悪さされない社会だったけど、今は家にも鍵をかけておかななくてはいけない怖い社会なので、勝手に悪ものから見守りしてくれる家がいい。
- ・高校生になり、下校の時間が遅くなったことによりすごく感じるのですが、高山市はすごく街灯が少ないと思います。街灯が少ない上に人通りも少ないため、心細く危険だなと感じます。

<住環境に関する意見>

- ・私たち小学生が、天気の悪い日に遊ぶ場所に困ることがあるので、公民館の小さいバージョンみたいなのがあったらいいなと思います。
- ・木の家が良い。庭が広くて、友達と遊べる家が良い。
- ・体を動かせれるところが近くにある場所。(その施設も、気軽に行きやすいこと)
- ・高校生が気軽に集まれる公園や涼しい場所があると嬉しい
- ・僕の家周りには子どもがあんまりいないので、子どもがもっといてほしい

<住まいの快適性等に関する意見>

- ・古くてもきれいにしている家が好きです。
- ・いつも散らかっていて場所が少ない。場所をもっと欲しい。
- ・家にいる時は外の音を気にせず静かに暮らしたい
- ・もっと自由に家を直したり出来たら楽しいだろうな
- ・虫のいない家

<住まいの確保・経済的支援に関する意見>

- ・ 持ち家は、固定資産や修繕費用などのお金がかかる。
- ・ 家は値段が高すぎるからもっと安くしてほしい。(アパートも)
- ・ 自分が将来、お家がちゃんと買えるか心配です。
- ・ 家を買う時に補助金が欲しい
- ・ 家をもっと安く買えたらいい。誰かと家と一緒に買って、使う日をきめて、安全に共同利用できたらいい。

<地域環境・生活利便性に関する意見>

- ・ とにかく、家からスーパーや学校が遠すぎる！近くに欲しい！学校の近くやお店の近くにも空き家が結構あるから、そこを解体して使って欲しい。空き地の草を刈って欲しい。
- ・ 最寄り駅までの唯一の公共交通機関であるバスの本数が少なく、登下校が不便だと感じる
- ・ 田んぼとかを潰して、家を作っていることを見かけることがあるから、自然の大切さを教えるような、自然豊かで、畑があって、楽しくすごせる家。
- ・ 住む人が増えてきて、ゴミの分別などの決まりを守ることができないことが多くなった。日本語を正しく理解できていない方もいるので、案内板に工夫が必要だと思う。
- ・ 近くにマンションができて、景色が変わったことが残念。

<その他>

満足しています。